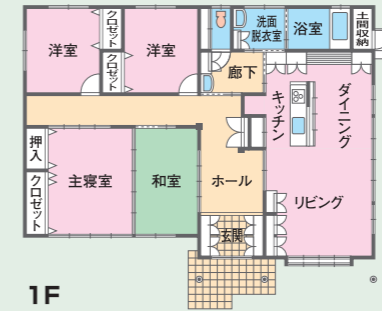




スギの磨き丸太に支えられた入母屋造りの平屋は、軒の出が深く化粧垂木が美しい。室内は、吉野産のヒノキとスギで統一。節のない赤みの無垢を用いた玄関の格天井やリビングの折上げ格天井など伝統技術が凝縮されている。



1F

- 施工：田村建設
- 設計：田村一級建築士事務所
- 建築面積：152.37㎡ (46.09坪)
- 延床面積：146.57㎡ (44.33坪)
- 工法：木造軸組工法

化粧柱はすべて手ガンナ仕上げ。真壁造りに映える本物の木の家



常務取締役
田村 直也

田村建設は現会長が木工から始め、数多くの経験と実績を地域に根差して培ってきた。磨き抜かれた腕前を持つ自社木工を育て上げ、在来木造軸組工法を基本に、設計から材料の手配、加工、現場管理、アフターメンテナンスまでを一貫して自社で行う。創業40周年の節目を迎え、現在は会長のご息3兄弟が一致団結して、誠実な家づくりを受け継いでいる。

長男で2代目の田村知幸社長は設計・工事監理に携わる。その脇をがっしりと固めるのが木工棟梁として現場を仕切る次男の武久専務と三男の直也常務。二人は今や、会長譲りの目利きとして良材を仕入れ、材料にとことん情熱を注ぐ。自社倉庫には希少性の高い青森ヒバ、秋田スギ、木曾や吉野のヒノキなど、日本有数の産地から仕入れた良質

な天然木が大量にストックされ、ゆっくりと自然乾燥しながらじっくりと出番を待つ。

自社工場では手ガンナ、手刻みなど昔ながらの技法にこだわり、職人が墨付けを行う。手ガンナ仕上げの化粧柱には、機械加工では到底出すことのできない美しい光沢がある。伝統技術の追掛け大榫継ぎは手刻みにしかできない堅固な継手。一本一本の木のクセを読み取りながら、手間暇を惜まず構造体を丁寧に刻む。入母屋やむくり屋根など職人技で丹念に組み上げる本格純和風住宅には工芸品のような優雅さと品格がある。

木の特性を熟知した同社の家づくりは、木が本来持つ強度を最大限に生かす。構造材は伝統的な赤マツ丸太などを用いた、粘りのある躯体が特長。柱にはヒノキの4寸角を

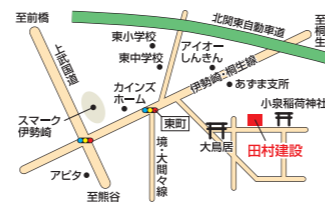
真壁の和室はもちろん、見えない部分にも惜しみなく使用する。また、意匠性の高い化粧垂木のある家を得意とし、純和風の平屋住宅やシンプルな和モダン住宅にも美しい化粧垂木が屋根裏に整然と並ぶ。太い柱や梁、床材、建具など良材を適材適所に配置した住まいは優しい木の風合いに包まれる。

「家づくりの良し悪しは木工で決まる。10年後、20年後に恥ずかしくない仕事をする」と話す直也常務。大工職人が木を刻まなくても機械化で家が建つ時代。しかし伝統技術は決して機械では成し得ない。「例えるならファストフードではなく建築におけるスローフードであり続けたい」と直也常務は語った。



当社の得意分野

- 純和風
- 自然素材
- リフォーム
- デザイン
- 職人技
- 化粧垂木



株式会社 田村建設

建設業許可群馬県知事(般-26)第12049号 一級建築士事務所 群馬県知事登録1520号
伊勢崎市小泉町450-4 TEL.0270-63-3333 FAX.0270-63-2288
URL <http://www.tamura-kensetsu.com/> E-mail info@tamura-kensetsu.com